

Data

対象事業 : 宝栄工業 真岡工場

対象リスク : 大規模地震発生

被災シナリオ : 栃木県内および隣県にて震度6以上の地震が発生

事業継続策 : 取引先の優先度を選定し、上位企業の業務継続方案を図る



企業名 宝栄工業株式会社

代表者名 原 正

Q 御社の事業内容は？

自動車及び建設・産業車両部品、環境保全機器等の開発・製造メーカーです。柔軟かつ高レベルの製造技術力で多種少量生産のニーズに応えています。

Q 今回BCP策定に取り組まれた理由を教えてください。

2011年3月11日の地震災害により危機管理の意識が会社全体として高まったため、また、以前より客先要求もあり、阪神淡路大震災の時策定した危機管理対策マニュアルの見直しも兼ねて取り組むことにしました。

Q 策定したBCPの主な内容(ポイント)を教えてください。

従業員及びその家族の安全確保を第一優先とし、その後顧客からの信用を守るため、そして事業存続のため、優先度の高い取引先事業の業務再開を早急に立ち上げる体制をつくることです。

Q BCP策定によって得られた気づきがありましたか？

単なるリスクアセスメントとは違い、事業が存続するために何が重要であるのかという考え方を学ぶことができました。また、改めて災害対策本部を検討した結果、管理職者の多くが真岡市外から通勤していることが分かり、代理人の選定及

び本部メンバーの入れ替えが必要であることがわかりました。

Q 今後の課題と方向性について教えてください。

以下の2点を重点課題と考えました。

①携帯・web関連が不通となった時に、社員が共通して行動できるマニュアルが作成できればなにより心強い。

②備蓄・備品の必要な物は常に上申し、都度備えることが必要であるということ。

Q BCPを策定した感想をお願いします。

2011年3月11日の地震災害ではすべてが想定外の連続であり、以前作成した災害マニュアルもほぼ機能していませんでした。今回取り組んだBCPで満足することなく、更なる想定外に対しての対策を随時盛り込んで行く必要性があると感じました。

商号 宝栄工業株式会社
本社所在地 東京都大田区西蒲田 2-9-10
設立 1946年(昭和21年)3月
資本金 1億円
従業員数 388名
代表者 原 正
事業内容 自動車および建設・産業車両部品
環境保全機器等の開発・製造
URL <http://www.hoeikogyo.co.jp/>